

2009年7月10日

対日投資部

対日投資促進（環境・省エネ分野）における取り組み

1. 対日投資誘致成功案件

環境・省エネ分野における 2007-2008 年度の主な対日投資誘致成功案件例*は次のとおり。

- ・アスベストの無害化技術（米国企業）
- ・環境修復技術コンサルティング（米国企業）
- ・エネルギー・マネージメント・システム開発（チェコ企業）
- ・リサイクル/廃棄物用自動分別機器販売（フランス企業）
- ・バイオエタノール等石油製品のアジアへの販売（ブラジル企業）
- ・廃家電樹脂の調達（香港企業）
- ・新再生エネルギー関連材料・部品の輸出入（韓国企業）
- ・環境コンサルティング会社（米国企業）

※詳細については別添参照

2. 支援を継続中の案件

環境・省エネ分野において、対日投資へ向けた支援を継続中の案件は次のとおり。

- ・太陽電池製造にかかる素材（シランガス）の製造（米国企業）
- ・太陽電池の製造・販売を含む省エネ・ソリューションの提供（米国企業）
- ・ユニバーサル電源機器（ICチップ）アダプターの開発・販売（米国企業）
- ・太陽電池製造（台湾企業）

3. 展示会出展

経済産業省受託事業「外国企業誘致地域支援事業」の一環として、外国企業に対してパートナー探しを提供し対日投資に向けたきっかけ作りを行うこと、さらには、自治体に対して投資支援案件の発掘の場を提供することを目的に、国内展示会(6件)に外国企業を招へいし、開催地および近隣地域企業とのマッチングを行った。そのうち環境分野においては、エコテクノ2008(北九州)、なごやエコクリーンカーフェア2008(名古屋)を対象とした。

【エコテクノ2008 概要】

地球環境時代にふさわしい環境保全・エネルギー技術を一堂に紹介し、環境技術交流を促進することで関係業界の技術革新、設備更新を促し、地域産業界の環境意識の高揚と環境ビジネスの健全な発展を図ることを目的に開催されている。

会 期：2008年10月22日(水)～24日(金)

場 所：福岡県北九州市

出展小間数： 379 小間(併催展示会含む。エコテクノ単体では 174 社、260 小間)

来場者数： 34,656 人

ジェトロ海外企業出展ゾーン： 17社(米6、仏2、独2、イスラエル3、シンガポール1、中国3) ※
詳細については別添参照

商談件数:345 件

【なごやエコクリーンカーフェア 2008 概要】

自動車に関する最新の環境対策技術や、代替エネルギーなどを紹介することにより、低燃費車両や低排出ガス車両の代替需要を促し、関連製品の市場拡大を図るとともに、地球温暖化対策に寄与するCO2削減技術の普及促進を目的に開催されている。

会 期： 2008 年 11 月 7 日(金)～9 日(日)

場 所： 愛知県名古屋市

出展小間数： 211 小間

来場者数： 27,583 人

ジェトロ海外企業出展ゾーン： 計 19 社(内訳:米 7、カナダ 3、ベルギー 1、仏 4、独 2、スイス 1、中 1) ※
詳細については別添参照

商談件数:425 件

4. 個別招聘・立ち上げ支援(予定も含む)

経済産業省からの受託事業「外国企業誘致地域支援事業」の一環として実施。自治体等が対日投資関心外国企業の幹部等を招聘する際に支援。

環境関連の招聘者数： 4 社

- ・ 太陽エネルギー応用製品の技術研究・製造・供給(中国企業)→福岡
- ・ 太陽電池モジュールの製造・販売(中国企業)→福岡工業廃液のリサイクルと処理業務(中国企業)→川崎
- ・ 再生古紙の製造、廃棄スチールのリサイクル(中国企業)→川崎

立ち上げ支援企業数:1 社

- ・ 産廃プラスチック関連(中国企業)

5. ミッション派遣

経済産業省委託事業『平成20年度投資環境関連情報発信事業』の一環として、対日直接投資の更なる呼び込みに資するべく、世界中から多くの投資関係機関等が集まるCleantech Forum San Francisco 2009に日本企業関係者等を派遣した。

【Cleantech Forum San Francisco 2009 概要】

クリーンテック（環境・新エネルギー技術等）分野に従事する経営者や研究者が世界中から参加し、パネルディスカッション等の場でクリーンテックビジネスのトレンドについて議論を交わす。多くの投資関係機関等が集うことから資金規模の点から見ても新興環境ビジネス界における代表的なイベントとされている。

会 期： 2009年2月23日(月)～25日(水)

場 所： 米国 サンフランシスコ市

ミッション参加者： 11社/団体(うち4つが地方自治体からの参加)

6. 環境・省エネ関連の情報コンテンツの整備

① 市場概況（パンフレット）の作成

Attractive Sectors(Environment) 発行（2005）

② オンラインマガジン／ニュースレター用記事の作成

グリーン IT（2009 春）

新エネルギー：太陽光発電と風力発電（2008 冬）

以上

※2007-2008 年度の主な対日投資誘致成功案件例

企業概要		国籍	進捗状況と今後の支援予定
株式会社 日本 ARI(米国)	日本企業への技術供与	東京都	従来よりも低コストでアスベストを無害化できる技術を有する企業。日本の関連企業へライセンスアウトするために、合弁で株式会社を設立。
EAP Remediation 株 式会社 (米国)	日本企業への生産委託	埼玉県	バイオ環境修復技術コンサルタントや土壌改良剤を輸入をするため、日本に株式会社を設立。日本では日清オイリオに生産を委託して改良剤をゼネコン等へ販売する。
インスター・イツ・ジャパン株式会社(チェコ)	日本企業への販売	兵庫県	電力・ガス等のエネルギー供給企業、製造業・サービス業等のエネルギー消費企業のために開発されたエネルギー・マネージメント・システムの開発・提供。省エネ市場拡大が見込まれるため日本に株式会社を設立。今後、日本を拠点としてアジア地域への拡大を予定している。
ペレンク・セレクトィブ・テクノロジー・ジャパン株式会社(フランス)	日本企業への販売	神奈川県	リサイクル及び廃棄物活用の為の自動分別機器の開発・販売企業。本社のアフターサービスグループが全国各地の拠点やパートナーと提携して遠隔メンテナンスも行う。 アジアへの進出を目的に株式会社を設立。
南西石油株式会社(ブラジル)	企業買収(M&A)	沖縄県	ブラジルの国営石油会社。約55億円で南西石油を東燃ゼネラルより買収。今後はアジアの拠点としてバイオエタノール等石油製品の販売を展開予定。
(株)肇英(香港)	日本企業からの調達	大阪府	廃家電の樹脂より再生樹脂を生成するプラスチック材料の製造を行う。日本拠点は廃家電樹脂の調達。製造は中国の工場にて実施。
株式会社テクノロジーアライアンス(韓国)	日本企業への販売	神奈川県	新再生エネルギー関連材料・部品の製造・販売。日本拠点は材料・部品の輸出入拠点として位置づけ。
Environ International Corporation(米国)	駐在員事務所	東京都	環境／衛生／安全／化学物質／土壌調査およびエンジニアリングのコンサルティングを提供。駐在員事務所を設立。

支援継続中の案件

企業概要	国籍	進捗状況と今後の支援予定
太陽電池製造にかかる素材（シランガス）の製造・販売	米国	日本および台湾、中国などの顧客に対して安定的にシランガスを提供することを計画。日本を含めたアジアでの工場建設を計画していたが、昨今の経済情勢を鑑み計画を延期。 今後、進出候補地に関する詳細なスペックを入手し、自治体の協力を得ながら、情報提供を行う。
太陽電池の製造・販売を含む省エネ・ソリューションの提供	米国	シャープ等日本企業の太陽電池部材を活用しつつ、省エネ・ソリューションを日本企業に提供することを計画。支援初期段階。太陽電池市場情報の提供を行った。荒川理事、伊藤ニューヨークセンター所長によるトップセールスを実施済み。
ユニバーサル電源機器（ICチップ）アダプターの開発・販売	米国	クリーンテックの代表格ともいえるベンチャー企業。従業員10名程度。日本企業とのビジネスアライアンスを模索中。地域支援事業を通じた支援を継続予定。
太陽電池製造・販売	台湾	地方自治体と連携しつつ、対日投資誘致活動を行っている。今後も継続して実施する予定。